

# JAPAN ICOMOS / INFORMATION

## INTERNATIONAL COUNCIL ON MONUMENTS AND SITES JAPANESE NATIONAL COMMITTEE 日本イコモス国内委員会

### 目次◆CONTENTS

はじめに／西村幸夫 01

From the President／Yukio NISHIMURA

英語サマリー／内藤秋枝ユミイザベル 02

Contents of this volume in brief (English only)／Yumi Isabelle NAITO-AKIEDA

片桐正夫先生の逝去を悼む／重枝 豊 03

In memory of Professor Masao Katagiri／Yutaka SHIGEEEDA

2013年次第1回拡大理事会報告(3/16)／事務局 04

The Executive Board Meeting 16th March 2013／Japan ICOMOS NC Secretariat

日本イコモス研究会(3/16)「産業遺産をめぐる最近の動向」報告 09

Report of the Japan ICOMOS Seminar "Recent developments regarding Industrial Heritage"

石見銀山協働会議:地域に相応しい文化遺産活用に向けた計画策定プロセス／パンノイ ナッタポン

Iwami Ginzan Silver Mines Collaboration Forum／Nattapong PUNNOI

国際産業遺産保存委員会とTICCIH 2012 Taiwan／種田 明

TICCIH and TICCIH 2012 Taiwan／Akira OITA

文化庁の世界遺産特別委員会が開催される／西村幸夫 13

Meeting of the Agency for Cultural Affairs' Special Committee for World Heritage／Yukio NISHIMURA

ブータンの文化遺産保存:法整備支援から次のステップを見据えて／河野俊行 13

The cultural heritage of Bhutan: From assistance for establishing legislation towards the next step／Toshiyuki KONO

ISC Theo Philo(保存理論に関する国際学術委員会)報告 その1／清永洋平 15

Report about the Annual Meeting of the ISC Theory and Philosophy, Part 1／Yohei KIYONAGA

ISC Theo Philo(保存理論に関する国際学術委員会)報告 その2／赤坂 信 15

Report about the Annual Meeting of the ISC Theory and Philosophy, Part 2／Makoto AKASAKA

小委員会報告 Reports of the Subcommittees of Japan ICOMOS

第10小委員会「塗装修理」活動報告／窪寺 茂 16

Activities report of the 10th Subcommittee／Shigeru KUBODERA

第12小委員会「技術遺産」の発足と活動報告／伊東 孝 17

The launching of the 12th Subcommittee and activities report／Takashi ITO

第13小委員会「眺望遺産とsetting」活動報告／赤坂 信 18

Activities report of the 13th Subcommittee／Makoto AKASAKA

2016年夏、世界考古学会議が京都に！／岡村勝行 19

2016: The World Archaeological Congress in Kyoto／Katsuyuki OKAMURA

海外便り Letters from abroad

風景のプレゼンテーション―“多層都市”ベルガマにて／狩野朋子・黄 琬雯 20

The presentation of landscape – at Bergama, a “multilayered city” / Tomoko KANO, Wan-Wen HUANG

Hello! from York／宮崎 彩 Aya MIYAZAKI 21

自著を語る Newly published books told by their authors

「水都学Ⅰ」[「アンダルシアの都市と田園」]／陣内秀信 23

“Suitogaku I”, and “Andalucia no toshi to den-en”／Hidenobu JINNAI

「建築保存概念の生成史」／清水重敦 24

“Kenchiku hozon gainen no seiseishi”／Shigeatsu SHIMIZU

インタビュー:ICOMOS国際専門家往来 10. 李 惠恩氏／山内奈美子 25

Interview 10: Ms. Rii Hae-Un／Namiko YAMAUCHI

事務局日誌 Diary 26

9期—2号



2013.6.10

はじめに  
西村幸夫



前野まさる 画

このインフォメーション誌第9期第2号誌が発行される2013年6月中旬というのはイコモスのカレンダーでも特別にセンシティブな時期です。といいますが、この6月16日からカンボジアのプノンペンとシエムリエップ-アンコールで始まるユネスコの第37回世界遺産委員会の直前にあたり、さらに同委員会の開催6週間前にそれぞれの国に対して送付されてくることになっているイコモスの評価書がすでに日本国政府に届いており、日本が世界遺産に推薦している「富士山」と「鎌倉」に対するイコモスの考え方が明らかになり、その対応に追われている真っ最中だと言えるからです。

さらに言うと、今年9月に概要版を提出することになる、「富岡」の次をどのように決めるのかという微妙な問題も山場を迎えていると思われるからです。

この問題にここで深入りをする事は避けませんが、日本国内の種々の候補案件に関わっている日本イコモス関係者にとっても緊張感を継続させなければならぬ時期であることは確かです。

一方で、すでに登録されている五箇山の合掌造り集落においては世界遺産マスタープランが策定されるというニュースや原爆ドームの耐震対策のための構造解析調査が実施され、想定した地震による即座に致命的な損傷を受ける可能性は低いものの、さらなる解析と補強案の作成が進められるというニュース、平城宮の保全状況に関して国際イコモスの専門家の理解が進むといったニュース、琉球王国のグスク及び関連遺産群の包括的保存管理計画が作成されるなど、明るい話題もありました。

世界遺産登録が個々の資産のさらなる保全へとつながるように、日本イコモスとしても協力を惜しまないつもりです。

# 事務局日誌

(2013年2月6日～2013年5月10日)



- 3/5 ICOMOS International Conservation Center-Xi'an より、“Annual Report 2012”を受領。
- 3/6 ユネスコ・アジア文化センターより、“ACCU news No.388”を受領。
- 3/11 定例会議を開き、第1回拡大理事会と研究会の内容等について協議。  
[JAPAN ICOMOS INFORMATION] 第9期1号発行、会員に順次発送。
- 3/16 日本イコモス国内委員会 2013 年次第1回拡大理事会、および研究会「産業遺産をめぐる最近の動向」を開催。研究会には21名が参加。
- 3/18 ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所より、「文化遺産ニュース VOI.25」を受領。
- 3/25 関西大学文化財保存修復研究拠点より、“Semawy Menu Volume 4”を受領。
- 3/28 日本コントラクト・ブリッジより、寄付金10万円を受領。
- 4/1 関西大学文化財保存修復研究拠点より、“Newsletter No.5”を受領。  
ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所より、“Training Course on Cultural Heritage Protection in the Asia-Pacific Region 2012 -Research, Analysis and Preservation of Archaeological Sites and Remains-”、“Training Course on Cultural Heritage Protection in Asia and the Pacific 2012 -Indonesia-”、“The Workshop 2012 for Protection of Cultural Heritage in Martapura, Republic of Indonesia”、“International Conference Human Resources Development for the Transmission of Traditional Skills: Building Decoration with a Focus around Painting and Colouring”、“ACCU Nara International Correspondent The Tenth and Eleventh Regular Report”を受領。
- 4/10 水戸市教育委員会より「教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム2012「近世日本の教育遺産」実施報告書」を受領。
- 4/12 会員の杉本泰俊氏より、「若狭の歴史と文化—中山寺との関連から—」を受領。  
第12小委員会（技術遺産）第4回会合を開催。
- 4/18 広報企画会議を開き、インフォメーション誌9期2号の編集方針を協議。
- 4/30 群馬県企画部世界遺産推進課より、「富岡製糸場創業140周年記念」シンポジウム実施報告書を受領。
- 5/2 外務省より、「世界遺産条約採択40周年記念最終合報告書」を受領。

## 日本イコモス国内委員会 団体会員（代表者）

佐渡市（甲斐元也）

縄文遺跡群世界遺産登録推進本部（三村申吾）

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議（松井一郎）

## 日本イコモス国内委員会 維持会員（代表者）

株式会社 尾田組（尾田芳信）

株式会社 鴻池組（蔦田守弘）

株式会社 都市環境研究所（小出和郎）

株式会社 プレック研究所（杉尾伸太郎）

株式会社 文化財保存計画協会（矢野和之）

株式会社 トリアド工房（伊藤民郎）

「国宝松本城を世界遺産に」推進委員会（菅谷 昭）

西武建設株式会社（宮本文夫）

株式会社 小林石材工業（小林美和）

「善光寺の世界遺産登録をすすめる会」（加藤久雄）

株式会社 丹青社（渡辺 亮）

株式会社 ゴールデン佐渡（澤邊一郎）

（敬称略・順不同）

日本イコモス国内委員会の活動には以上の企業・団体のご支援をいただいております。